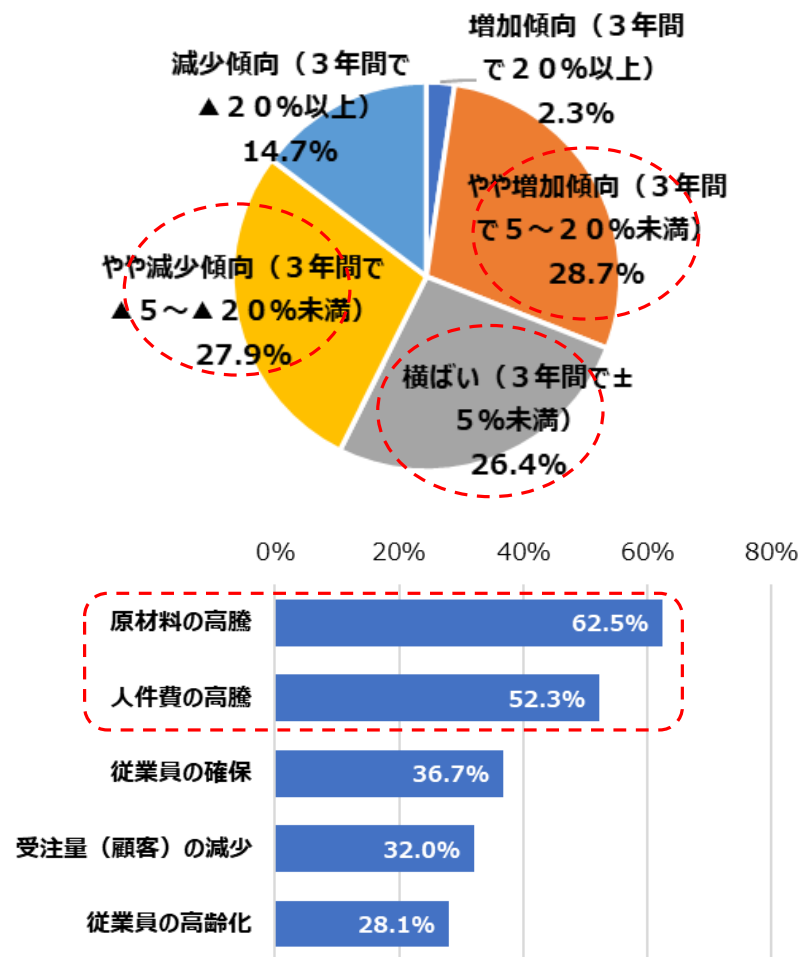


## 2. 塩竈市のまちづくりに関する企業アンケート結果（抜粋）

## 売上高、経営上の課題について

直近3年間の売上動向について、「やや増加傾向」が約29%で最も多く、次いで「やや減少傾向」が約28%、「横ばい」が約26%となっています。「増加傾向」と「やや増加傾向」を合わせると約31%、「減少傾向」と「やや減少傾向」を合わせると、約43%となり、全体的には減少傾向の企業が多いことがうかがえます。「やや増加傾向」、「やや減少傾向」、「横ばい」を合わせると全体の8割を占め、市内企業の直近売上高に大きな変化がみられていない状況となっています。

一方で、経営上の課題では、「原材料の高騰」と「人件費の高騰」の回答割合が半数を超え、売上が変化しない中で経費増による収益圧迫が懸念される企業が多いことがうかがわれます。

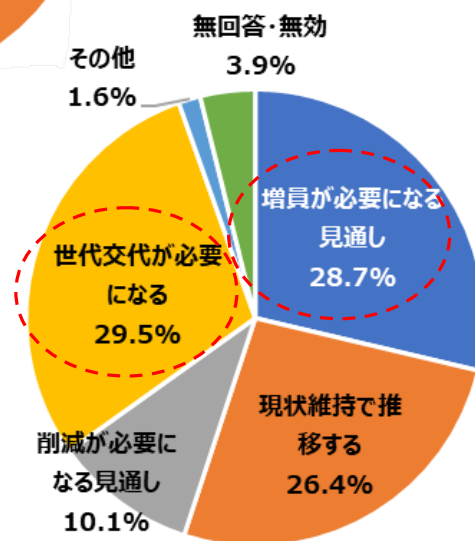
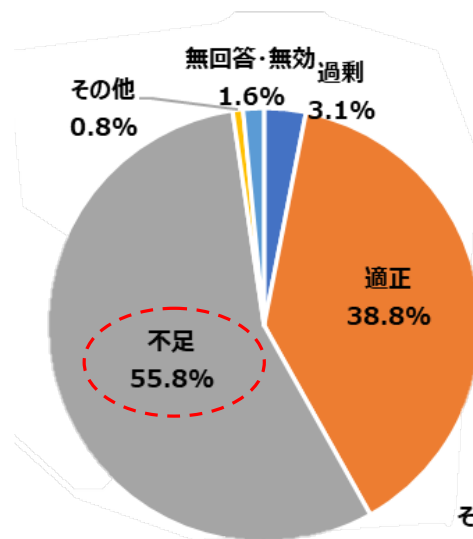


## 労働力需給について

労働力の過不足状況について、  
「不足」と回答した企業の割合が55.8%  
と半数を超える結果となりました。

今後5年間の労働力の需給見通しについて、  
「世代交代が必要になる」が29.5%  
と最も多く、次いで「増員が必要になる見通し」が28.7%  
と続いています。

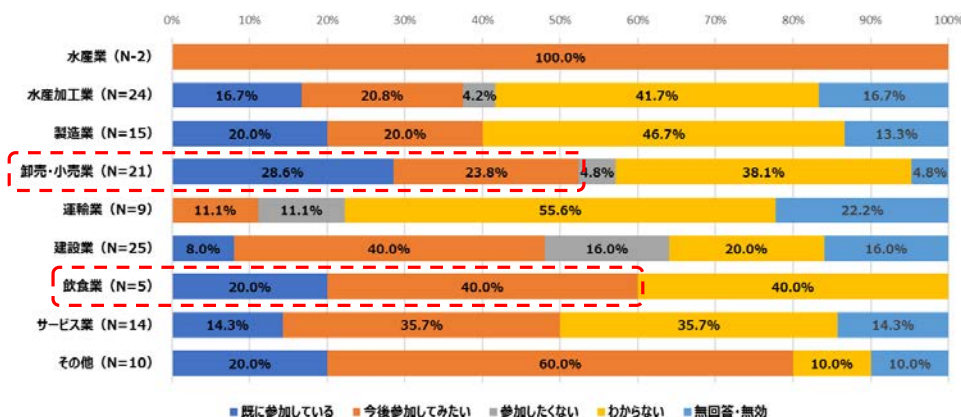
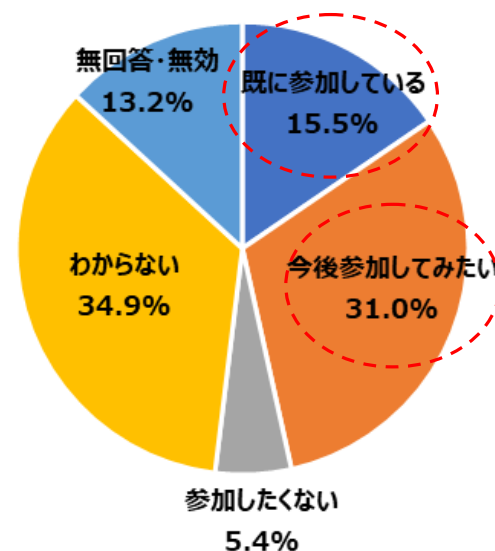
市内企業の半数以上が人材確保について課題を抱えていることがうかがわれます。



## まちづくりへの参加意欲について

まちづくりへの参加について、「既に参加している」と「今後参加してみたい」を合わせると46.5%と半数を下回り、総体的にまちづくりへの参加意欲が低い結果となっています。

業種別にみると、卸売・小売業や飲食業などでは「既に参加している」「今後参加してみたい」と回答した企業が50%を上回り、まちづくりへの参加意欲が比較的高い結果となっています。



## 地方創生に向け行政が取り組むべき分野について

特に重要である項目も含め、  
「人材確保・育成への支援」と  
「観光客（外国人旅行者含む）の受入環境の整備」が46.0%（特に重要：ともに25.2%）と最も多く、  
次いで「市全体の美観や景観整備」が46.0%（同：23.5%）となっています。

観光客の受入環境整備や美観・景観整備の回答割合が高いことから、交流人口拡大のための取組が必要であると考える企業が多いことがうかがわれます。

